

## 第 10 回農業振興対策特別委員会

日時：平成 30 年 6 月 8 日（金）午前 10 時 36 分～

場所：市議会委員会室

1) 今回の委員会では、冒頭、次の事項について事務局より資料内容の説明。

- ① 前回委員会の委員からの意見の内容確認
- ② 本委員会設置後、開催されてきた委員会での意見の取りまとめ
- ③ つがる市の 6 次産業化に関するホームページでの表示内容の確認
- ④ 報道機関（新聞）に掲載された、農業に関する記事、内容の確認
- ⑤ その他：以下の資料内容の確認
  - ・ 農業の専門課程を、自治体が採用した事例紹介
  - ・ 弘前大学農学生命科学部との連携を呼びかける資料
  - ・ 農業経営収入保険に関する資料
  - ・ 青森県農業再生協議会が作成した資料「平成 30 年度経営所得安定対策等のあらまし」
  - ・ 農林水産省が作成した資料「経営所得安定対策等の概要」

2) 今回の委員会で出された主な意見等

これまでの委員会で出された意見や視察研修及び議会における一般質問並びに予算特別委員会での質疑を踏まえ、また前段の資料説明を受けた後、次の意見が出された。

### 【主な意見】

これまで、本委員会でも出されていた「労働力不足対策として、「雇用の窓口」設置を農協又は市へ設置してはどうか」という意見があったが、県の事業「地域農業労働力補完システム構築事業」の一つである「無料職業紹介事業」により、つがるにしきた農協では平成 30 年 9 月に

開設予定であるとのこと。それに対して、市としても支援できないか、議員も積極的に周知すべきではないかとの意見があった。

次回の会議は7月の視察研修終了後、市内二つの農協の労働力不足対策の実施方法について確認しながら、研修結果の内容を検証し振興対策を絞り込んでいくこととした。